

講 義 名	道守の紹介と役割
講 師	森田千尋 准教授
講 義 形 態	講義
実 施 時 間	10 : 00～10 : 20
時 間 数	0.33 時間
内 容	<p>①道路インフラの現状と課題 日米道路ストックの高齢化、欠陥橋梁の割合、荒廃するアメリカの惨状、実橋耐荷性能試験車、長寿命の橋梁、損傷事例、主な示方書等の改定</p> <p>②インフラ長寿命化センター ミッション、業務内容、実施体制</p> <p>③道守養成ユニット 長崎県の現状と地域再生に向けた取組状況、地域再生人材創出構想の内容、社会資本整備の将来像、期待される効果、道守の構成、実施体制・内容、カリキュラム、運営協議会、人材養成に関する協力体制、道守シート、認定後の活動</p>

講 義 名	長崎県の道路と道路構造物の状況
講 師	森田千尋 准教授
講 義 形 態	講義
実 施 時 間	10 : 20～10 : 40
時 間 数	0.33 時間
内 容	<p>①長崎県の道路状況 国、県、市町が管理する道路整備状況</p> <p>②道路パトロール 長崎県で実施している道路パトロール状況、道路パトロール車</p> <p>③道路施設の損傷事例 長崎県が管理する橋梁の建設年度分布 橋梁（鋼橋の腐食、コンクリート橋の鉄筋腐食、アルカリ骨材反応、ボックスカルバート）、トンネル（クラック）、付属物（防護柵、組み立て歩道、照明灯、カーブミラー）、舗装（舗装、ポットホール、舗装・盛土,その他）、斜面（モルタル吹きつけ、落石、崩土・路肩洗掘）、排水（側溝蓋）、歩道（歩道段差）、その他（倒木）</p>

講 義 名	コンクリート構造物について
講 師	道守 吉川國夫
講 義 形 態	講義
実 施 時 間	10 : 40～11 : 10
時 間 数	0.5 時間
内 容	<p>①コンクリート構造物について コンクリートとは、RC 構造について、PC 構造について</p> <p>②コンクリート橋について コンクリート橋の一般的な名称、コンクリート橋の種類</p> <p>③コンクリート構造物の変状について コンクリート構造物の変状の種類</p> <p>④点検について コンクリート橋の点検のポイント、日常点検の目的</p>

講 義 名	鋼構造物について
講 師	道守 山口 忍
講 義 形 態	講義
実 施 時 間	11 : 20～11 : 50
時 間 数	0.5 時間
内 容	<p>①最近の鋼橋の事故 I-35W 橋 (米国), 木曾川大橋, 本荘大橋, 山添橋, 辺野喜橋</p> <p>②鋼橋について 鋼橋の構造形式による分類, 部材名称</p> <p>③鋼構造物の劣化現象 腐食, 塗装の劣化, 疲労</p> <p>④気にかけていただきたいこと</p>

講 義 名	道路・斜面・トンネルについて
講 師	道守 森 史朗
講 義 形 態	講義
実 施 時 間	11：50～12：20
時 間 数	0.5時間
内 容	<p>①道路について 舗装について、道路上での変状のポイント</p> <p>②斜面について 自然災害・土砂災害について、地滑り、崩壊、土石流について</p> <p>③トンネルについて 種類ごとの変状トンネルの割合、変状要因の分類、トンネルの主な変状</p>

講 義 名	道路の見守り活動について
講 師	出水享技術職員・森田千尋准教授・道守吉川國夫・道守山口忍・道守森史朗
講 義 形 態	講義・現場実習
実 施 時 間	13：10～15：10
時 間 数	2時間
内 容	<p>【講義】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全を損なう恐れのある変状について ・一般知識（安全、取組み、写真撮影、秘密保持） ・通報システムについて ・道守シートの書き方、提出先など <p>【現場実習】</p> <p>実習場所は、長崎県から提供していただいた法面、トンネルを選定しバスで移動した。なるべく対象構造物に近づけて安全な場所、損傷・劣化のある場所を選定した。現地では、変状が発生しやすい部位や部材、点検シートの作成方法について講義した。受講生には、変状をみて道守シートを記載してもらった。講義会場に戻ったのちに道守シートの添削指導を行った。</p>